

背振全山縦走

【報告・参加者】 T 寄

【日 時】 2017 年 4 月 14～15 日 【天 候】 晴れ→曇り

《コースタイム》

JR 原田 12:00→12:50 基山→15:25 九千部山 35→18:05 蛤水道 15→19:45 背振山 55→22:50
金山水場 23:05→0:00 三瀬峠 0:20→2:05 井原山 25→3:30 雷山→5:20 長野峠 35→7:40 羽金山
山 55→10:50 女岳 11:00→12:05 浮嶽→13:25 十坊山 45→14:45 まむし温泉

《 報 告 》

JR 原田駅横のパン屋「FINESSE」で、サービスのコーヒーを飲みながら、サンドイッチとアンパンで昼食を摂り、just12 時に出発する。日曜日に波佐見・伊万里・有田の陶芸の里をトライアングルに巡る 65km のウルトラを走ったばかりなので、無理せず、特に下りは膝に負担がかからないように歩こうと思う。ところが、靴下をタビックスのランニング用を履いてきてしまった。いつもは、スマートウールのライトミニであるが、ついうっかりの間違いである。注意して歩こうと、心する。

無人の基山山頂から遠望すると、25km 先の背振山は流石に遠い。舗装路先の古屋敷から石畳風の坂を上り標識に従って陰気な谷筋を通るのが本来であるが、この谷筋が嫌いなので直進し古い舗装路を下り柿の原峠に出る。薄い踏み跡とテープがあったので、あの谷筋が嫌いなのは私だけではないのだ、と一人納得する。

九千部山と蛤水道で休憩を取る。蛤岳を越えて背振に入り、日が落ちたら風が出だした。背振山で休憩するも、じっとしていると寒いので、靴ひもを締め直し、飲み残しのコーラをザックのポケットに入れ、そそくさと出発する。

ほぼ計画通りに到着した金山の水場で補給し、三瀬峠で大休止。靴を脱いで足裏と指をマッサージする。

三瀬峠からの登山道の状況は T 橋さんから伺っていたので戸惑うことは無かった。予備知識がなかったら、入り口が分からず、反射テープも見落としていたかも…。感謝である。

井原山山頂では、左右の夜景を堪能しながら、暗くなったヘッドランプの電池を交換する。

雷山スキー場を下って長野峠分岐に来たら、立ち入り禁止の掲示とテープがある。

無視して進むが、250m 程で木材の搬出道で登山道が途切れる。未だ夜が明けていないので道探しに手間取り、やっと長野峠に出る。

次からは、長野峠分岐で左折して林道を通って長野峠に向かわないといけない。

羽金山の最後の上り手前の白糸の滝分岐で水場を確認しに行く。水場は往復 10 分程で行け涸れそうもないので、蛤水道・背振山頂・金山・ここで給水すれば、持ち歩く水は減らせそうである。

羽金山電波送信所前で靴を脱いで休憩する。ここまで来るとホッとすが、全山の中で次のピー

ク(女岳)までが一番長い区間でもある。

ウインドシェルを脱ぎ、清々しい空気の中を快調に荒川峠まで駆け下り、汗をかきながら女岳の上りに堪える。女岳山頂からの展望は良くはないが一息入れる。

荒谷峠を過ぎた所で、今山行中初めて人に会う。大きな上りの最後だと自分に言い聞かせて浮嶽を上る。いつもは、ここ辺りで睡魔に襲われるが、今回は一息で上れた。山頂の神社に手を合わせ通過する。

浮嶽は人気のある山なので多くの人(約10人)と行き交った。

蒸し暑く、雲行き怪しくなる前に十坊山に到着。写真を撮ってもらい、大休憩をする。ミカン畑の舗装路は走って下るぞ、と毎回思うが、ここに来るとトボトボと山道よりも遅く歩いてしまう。まむし温泉のベンチに腰を下ろして、留守宅の0原さんと家内に下山のメールを送る。今回は少し時間がかかったが、何はともあれ無事に完歩出来た。

反省点は、靴下の間違いのほか、

ライト：ヘッドランプとハンドライトを持参したが、ヘッドランプ2個にする。

給水：ハイドレはやめて、ペットボトルとプラティパスにする。

行動食：バーム類、ドライフルーツ、ナッツ、柿の種を持参したが、ドライフルーツとナッツは良。他はやはり、カロリーメイトにする。

